

あつぎ

農委だより

2022年
1月1日
第89号
編集・発行
厚木市農業委員会

三世代で夢を継ぐ花き栽培



飯山で花き栽培を営む佐々木花園の皆さん

**新年、あけまして
おめでとうございます。**

ご家族おそろいで新春をお迎えのこと
とお喜び申し上げます。

私たちの暮らしに大きな影響を与えた
新型コロナウイルス感染症は、発生から約
2年が経過します。

ワクチン接種の進展や新たな生活様式
の定着により、一旦は落ち着いたものの、
新たな変異種の発見など、予断を許さな
い状況が続いています。

引き続き、一人ひとりの高い感染対策の
意識や良識ある行動が求められます。

さて、昨年は、気候変動の影響と考え
られる猛暑や8月の長期間の降雨等、急
激な天候変化があり、農業においては、栽
培管理や病害虫対策に苦労した1年とな
りました。

私たち農業委員会は、農業委員・農地
利用最適化推進委員が一丸となり、限り
ある農地を後世に引き継ぐため、農地の
保全に向けた活動を展開しています。

遊休地の未然防止のための農地パトロー
ルや担い手への農地の利用集積・集約化の
実施、新規就農者の認定等、農地利用の
最適化に向けた活動を推進しています。

本年も農業委員会は、関係機関、関係
団体と手を携え、農業経営のより一層の
向上に資するため、一生懸命取り組んで
まいります。

本年が農業者をはじめ、市民の皆さま
にとって、希望に満ち、健康で実り多き
良い年となりますことを心よりご祈念申
し上げ、年頭のあいさついたします。



厚木市農業委員会
会長 堀池 春夫

